燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

軟式野球

競技のみどころ

- 日本では大正時代に始まり、軟球を使用することから安全性が高く、野球の普及にも大きな役割を果たしました。軟球には「地面で弾む」、「変化球がよく曲がる」、「打球が飛びにくい」などの特性があるため、硬式野球とは戦術が異なります。1点を取るための攻撃や与えないための守備、バッテリーと打者との駆け引き、ベンチの采配など、見どころが盛りだくさんです。
- 試合は9イニングを行い、同点の場合、勝敗が決するまで延長戦を行います。
- 国体では、成年男子32チームで実施されます。

かごしま国体に向けた思い

- 硬式野球とはボールの軌道が異なり、それが魅力となります。代表チームが昭和47年に鹿児島県で開催された第27回国民体育大会（太陽国体）で優勝したほか、近年では平成16年に埼玉県で開催された第59回国民体育大会で準優勝するなど、県勢の活躍が続いています。
- 鹿児島県軟式野球連盟では、万全の体制で代表チームの強化に取り組んでおり、「かごしま国体」では、強力なチームワークを発揮し、優勝を目指します。

燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

相撲

競技のみどころ

- 相撲は日本古来の神事であり、その様子は「古事記」や「日本書紀」にも記されています。目場の稽古で鍛え上げた力と技のぶつかり合いは迫力満点で、まさに圧巻です。
- 試合では、まわしを着け土俵上で組み合い、相手を倒す・投げる、又は土俵外へ押し出して勝敗を決します。
- 国体では、成年男子（1チーム3人）、少年男子（1チーム5人）で団体戦が実施されます。また、団体戦予選の全勝者による個人戦も実施されます。

かごしま国体に向けた思い

- 鹿児島県でも相撲は盛んで、特に、奄美地域では、歴史的にも生活に深く関わり、毎年の五穀豊穣や無病息災等を祈願して行われています。本県の選手は一般的に体型がやや小さいものの、幼い頃から鍛えられた勘と勝負強さを兼ね備えています。
- 鹿児島県相撲連盟では、選手・関係者一丸となって日々稽古に励んでいます。
- 「かごしま国体」では、総合優勝を目指し、そして、交流を深め心に残る大会となるよう取り組みます。

燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

馬術

競技のみどころ

- 優れた技術で、馬の能力を最大限に引き出そうとし、その要求に馬も精一杯応えようとします。その姿から人と馬との絆を感じることができます。人馬一体となった妙技が繰り広げられ、一つの動きに大きな感動がわき起こります。
- 試合では、演技の正確さと美しさを競う「馬場馬術」、障害物を飛び越えて競う「障害飛越」のほか、その二つの技量を総合的に競う「総合馬術」があります。
- 国体では、成年男女、少年で実施されます。

かごしま国体に向けた思い

- 信頼関係のもと、人の指示に馬が応えて動きます。馬場馬術における人馬の息のあったリズミカルな動きは美しく、また、障害馬術における飛越には迫力があります。
- 鹿児島県馬術連盟では、愛馬とともに栄光を掴むため、選手・スタッフ一丸となって、日々鍛錬を重ねています。また、次代を担う若い世代の育成・強化にも力を入れています。
- 「かごしま国体」では、全種別で上位入賞を目指し、また、多くの県民が馬術の魅力を知る絶好の機会となることを期待しています。盛大な応援をぜひお願いします。

燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

フェンシング

競技のみどころ

- 目にも留まらぬ刺さばきの応酬は見応えがあります。中世ヨーロッパの剣技をベースに、18世紀中頃に競技としてルール化されました。攻撃（アタック）や防御（リポスト）など迫力ある動作から繰り出される様々な技に注目してください。
- 試合では、胴体への突きのみを有効とする「フルーレ」、全身有効面の「エペ」、突きと斬りで上半身を攻撃する「サーブル」の3種目があります。いずれも有効面への攻撃によって先に既定のポイントに到達した側の勝利となります。
- 国体では、成年男女、少年男女で各3人制の団体戦が実施されます。

かごしま国体に向けた思い

- オリンピックでメダルを獲得するなど、国内のレベルは顕著に向上しています。鹿児島県ではジュニアから成年まで幅広い層の選手が腕を磨いており、これまでも日本代表選手を輩出してきました。
- 鹿児島県フェンシング協会では、競技の普及はもとより、ジュニアの育成にも積極的に取り組んでいます。全国中学選手権大会に出場した実績もあり、「かごしま国体」開催時に高校生になる世代も大きく成長しています。
- 「かごしま国体」では、総合優勝を目指して頑張ります。

燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

柔道

競技のみどころ

- 日本古来の武道の一つである柔術を起源とする格闘技で、現在は世界的に普及しています。相手の動きに応じた基本動作から立技・捨身技・抑込技・絞技・関節技などの多彩な技が繰り出されます。技が見事に決まって瞬時に勝負が決することもあり、迫力ある激しい試合展開が見どころです。
- 国体では、成年男子、少年男子、女子で体重別による各5人制の団体戦が実施されます。

かごしま国体に向けた思い

- 力強くかつ和の心をもって相手に敬意を払う美しい武道です。
- 鹿児島県柔道協会では、薩摩の郷中教育を原点とした「薩摩柔道ルネッサンス宣言」のもと、技量など身体の鍛錬とともに、人間力を磨くことに努めています。
- 少年から中学・高校・一般に至るまで計画的に強化訓練を行っており、「かごしま国体」では全種別で優勝を目指します。

燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

ソフトボール

競技のみどころ

- 野球と似たルールながら、大きなボールを使用し、グラウンドサイズも異なります。下手投げ特有の打者の手元で浮き上がるライズボールなど野球にはない変化球も見られます。打球が飛びにくい反面、緩かなプレーやスピード感あふれるプレーが大きな見どころです。
- 試合は7イニングを行い、同点の場合、野球とは異なり、無死2塁から始める「タイブレーカー」が採用されます。
- 国体では、成年男女、少年男女で実施されます。

かごしま国体に向けた思い

- 広く普及し親しまれていますが、国内トップレベルの選手によるダイナミックに腕を回す投球や高度な反射神経による守備などはスピード感にあふれ、見応え十分です。
- 東京オリンピックでは正式種目として復活し、大きな注目を集めています。鹿児島県ソフトボール協会では、この追い風に乗って着実に強化を進めています。
- 「かごしま国体」が県民・選手一体となった心に残る大会となることを期待しています。

実物のパネルはA1サイズです。